

第35回修習技術者支援セミナー 実施報告【香川】

H30.12.15

1. はじめに

第35回修習技術者支援セミナー実施状況

日時：H30年12月15日（土）14：00～17：00

会場：西日本高速道路エンジニアリング 四国(株)1F 会議室

参加者：20名

（士11名、士補3名、修習4名、一般2名）

2. 上田副委員長挨拶



3. 講義①「技術士制度・試験と修習」

講演時間：14：05～14：30

講演者：修習技術者支援委員会委員 佐々平和 氏

講演内容：

一次合格者・修習技術者並びにそれらを指導する立場にいる技術士に向けて、技術士制度と試験、技術士試験の仕組み、修習技術者の修習の在り方、技術士制度改革の情報について説明を行った。

技術士制度の中では、現在の士、士補の登録者数や技術士会の会員数、二次試験結果の推移と試験法改正の関係などについて説明。修習の在り方では、求められる資質・能力、役職別希望・保有資格、取得の意義を説明。技術士制度改革では、平成31年度から択一問題が廃止されるので、その変更内容について詳説した。



4. 講義②「日本技術士会四国支部及び青年技術士交流会の活動紹介」

講演時間：14：30～14：50

講演者：青年技術士交流委員会委員長 池谷聖 氏

講演内容：

日本技術士会の特徴、規模、組織、四国本部の設立経緯と会員数の推移、活動方針、各委員会と活動を紹介し、入会をPRした。また、青年技術士交流会の取り組み紹介を行い、修習技術者には情報交流の場として開催事業及びメーリングリストへの参加を促した。



第35回修習技術者支援セミナー 実施報告【香川】

H30.12.15

5. 講義③「プラスワン活動の紹介」

講演時間：14：50～15：05

講演者：株式会社石垣 吉田智紀氏

講演内容：

プラスワンは、技術士資格取得後、技術士を志した初心や熱い思いを継続実現させる研鑽・人脈構築を目指し、交流舞台づくりの場として、香川県技術士会の有志で平成8年2月にスタートした。有志がボランティア精神で運営しており、22年を数える。香川高専の出前授業は13回実施しており、例会を含めたのべ参加人数は約3,000人に達することを説明した。



6. 技術士第二次試験合格による体験談発表

講演時間：15：20～16：00

講演者：建設部門 林 詳悟氏

応用理学部門 藤本 耕次氏

建設部門 岩井 綾氏

3名の第二次試験の合格体験談の講演を行った。

林氏は、経歴書の書き方、口答試験を見据えた経歴詳述の方法や試験の準備について発表。藤本氏は、これまでの受験結果とターニングポイント、口答試験リベンジについて発表。岩井氏は、自身の強みを生かした独自の勉強方法と現在の心境、今後の抱負について発表した。各発表を通して、技術士を目指す意識や試験への臨み方などモチベーションを高めることが出来た。



7. 座談会（全員参加）

時間：16：00～17：00

技術士と修習技術者他が写真のように2組に分かれて向き合う形を取り、30分でメンバーチェンジすることで、全員で交流した。

内容的には、自己紹介からはじめ、いつから技術士を取る気になった、本気になった時期は何月頃、動機は自発的と会社の強制的ではどちらが大切か、二次試験に合格する、あるいは論文を認めてもらうために重要なことは何か、具体的にはどう行動したらいいかなど、実際的な事柄について意見交換を行うことによって、今後の在り方や訓練方法等について支援が行えた。



8. おわりに

今回の修習技術者支援セミナーでは、以前のアンケートでディスカッション方式を望む声が多かったことを受け、後半は全員を2班に分けた座談会を行ったが、活発な意見交換ができ、修習技術者にとって有意義な時間が過ごせたものと確信する。

—以上—